

梅雨の雨を一身に受け、木々の緑が一層深みを増していく季節となりました。

さて、例年4月から6月にかけては、市内の各種団体における総会行事などが多く開催される時期です。本年もたくさんの方の団体からご案内をいただき、できるだけ出席させていただいたところですが、さまざまな団体の多くの市民の皆様が、自分たちの住む地域を少しでも良くしていこうという気持ちでご尽力をいただいていることに、本当に頭の下がる思いがしました。

市としても、このように頑張っておられる市民の皆様と一緒に考えて、そして応えていく市政でなければならぬと、決意を新たにしているところです。その考えの下、市でも7月から新たな取り組みを開始しますので、少しご紹介させていただきます。まず、「あらお「しあわせ」探しトーク」の開催です。

市内の12地区で開催し、市の政策についてのご意見をいただくほか、市民の皆様が考える「しあわせ」観についてお聴かせいただければと考えています。開催日時などの詳細につきましては、本広報紙の18ページをご参照ください。

今後は平成34年6月の開院を目指して、本格的に設計・施工の段階に入っていきます。また、環境省が進めております「荒尾干潟水鳥・湿地センター」の平成31年度の開館に向けて、干潟関連のイベントにも力を入れてまいります。早速、7月21日には「荒尾マジック釣り大会」を開催します。定員が千人で先着順になっていきますので、早めのお申し込みをお願いいたします（申し込み方法などの詳細は、広報あらお6月号の18ページか市ホームページをご参照ください）。

梅雨の後半、大雨に十分ご注意くださいとともに、梅雨が明けると暑い日が続きますので、くれぐれも体調を崩されませぬようご自愛ください。

荒尾市長 浅田敏彦



マジック釣り、ほんまにズイわ〜でも楽しい!

ことしも イベントフォトレポート②

### 関西地方から、修学旅行生がマジック釣りを体験しにやってきました!

5月24日、兵庫県神戸市立垂水東中学校の3年生121人がラムサール条約湿地の荒尾干潟を訪れ、マジック釣りを体験しました。荒尾が誇る景観に大興奮の子どもたちは、名人の親切な指導の下マジックとの真剣勝負を楽しみました。体験後には、マジックの天ぷらが振る舞われ、有明海産のアサリをふんだんに使った「長洲きやあめし弁当」を昼食に、有明海が産んだ海の幸を堪能しました。この体験プログラムは、荒尾市や大牟田市など2市2町と玉名地域振興局が参加する荒尾玉名・大牟田観光推進協議会が修学旅行生の誘致活動を行い実施したものです。垂水東中学校は2015年5月に続き2度目の来荒となり、初のリピーター校となりました。



釣れたよ〜 イエイ!

#### ◎私たちのマジック釣り体験記



マジックにタッチ

釜たて頑張る!

天ぷらおいしい♡

有明海の海の幸最高!

#### INTERVIEW



神戸市立垂水東中学校 総務 矢野将史先生

神戸では体験できないことを体験でき、子どもたちもとても良い笑顔でした。この自然を守り、育むため、地域の人が多いの苦勞をされていることも子どもたちには学んで帰ってほしいです。



市長から大漁の表彰



マジックキーのお見送り



5月26日、蔵満海岸にて